



日本語

機能

SPD: 現在スピード 0.0~199.9 km/hまたは0.0~120.0 マイル/h±1%
 現在スピードは、走行中つねに4桁で表示されます。

CLK: 12時間/24時間時計 1:00:00~12:59:59 AM/PM または 0:00:00~23:59:59±0.003%
 時計は、現在の時刻を12HR AM/PMまたは24HRで表示できます。

DST: 走行距離 0.00~999.99 kmまたは0.00~999.99 マイル±0.1%
 DST機能は最後のRESET操作から距離データを蓄積します。

RTM: 乗車時間 0M00.05~59M59.95 1H00M05~99H59M59±0.003%
 RTMは最後のRESET操作からの乗車時間を合計します。

AVG: 平均スピード 0.0~199.9 km/hまたは0.0~120.0 マイル/h±1%
 AVGはDSTをRTMで割った除数で算出されています；平均的なデータは最後のRESETからカウントされます。

MAX: 最高速度 0.0~199.9 km/hまたは0.0~120.0 マイル/h±1%
 最後にリセット操作をしてからの最大スピードが表示されます。

T.RT: 乗車時間 0M00.05~59M59.95
 T.RTは最後にオールクリアしてからからの乗車時間を合計します。

ODO: オドメーター 0~99999 マイル±0.1%
 ODOは総距離を累算します。
 ODOメーターのデータはオールクリア操作のみで消去することができます。

[A]: スキャン
 1. 自動スキャン表示モード
 記号が表示されるまで[モード]ボタンを押し続けてください。[A] コンピュータがルーブリークで自動的に毎5秒づつ表示モードを変更表示します。
 2. 固定表示モード
 記号を消すには[モード]ボタンを押し、[A] 目的の表示モードを選択してください；コンピュータは自動スキャン表示操作を停止します。

⊕: スピード・パーサー
 現在のスピードが平均スピードよりも速い場合は⊕スピード・パーサー矢印が点滅し、逆に遅い場合は⊖矢印が点滅します。

⚡: 未充電表示灯
 電池切れが近くなると、**Low** という記号が表示されます。

メイン・ユニットの設定

サイクリング・コンピューターの初期化 (オール・クリア) (図1)
 1. [モード]ボタンを押し下げ同時に3秒以上[セット]ボタンを押して、コンピューターを初期化し全てのデータを消去してください。重要：最初に使用する前に必ずコンピューターを初期化してください、この作業を行わないとコンピューターが誤作動する恐れがあります。
 2. 初期化後、自動的にLCDセグメントがテストされます。
 3. [モード]ボタンを押すと、LCDのテストが終了し、「KM/H」が点滅します。

単位の選択

[モード]ボタンを押して、KM/HまたはM/Hを選択してください。[セット]ボタンを押すと、選択した単位に設定されます。

外周長データ設定

デフォルト値2155mmを「c2155」と表示します。ご自身の車輪の外周長の値を測定するかまたは、このマニュアルに記載されている早見表を参照してください。

タイヤ外周長

a). 正確に測定する (図2-1)
 車輪をエア注入バルブが一番低い位置、接地点になるまで回します、次に最初のポイントを地面にマークします。バルブが再び一番低い位置になるまで自転車を前方へ押し進めてください。第2ポイントを地面にマークしてください。それらの2つのマークの間の直線距離を測定してください。この値を入力してタイヤ外周長をセットしてください。
 b). 早見表 (図2-2): 該当する外周長値を早見表から入手してください。

時計の設定

1. 時計の設定時には **CLK** という記号が表示されます。
 2. 12H/AM、12H/PM または 24Hのいずれかを選択します。
 [モード]ボタンの早押しで、12H-AM、12-PM または 24H を選択してください。時計設定スクリーンに切り替えるには、[モード]ボタンを2秒以上押し下げてください。
 3. [モード]ボタンの早押しで、点滅している桁の数字が1づつ増えます。
 4. 点滅している桁を変えるには、[モード]ボタンを押したままにすると、隣の桁が点滅するようになります。

ボタンと操作

[モード]ボタン (図.3)
 このボタンを押すたびに、各基本機能画面が順番に切り替わります。
 [セット]ボタン (図.4)
 [セット]ボタンを約3秒間押し下げると、データ設定モードに入ります。

自動開始/自動停止

SPD、ODO、DST、MAX、T.RT、及びAVGの各データは、走行開始と同時に自動的に計測が開始され、停車と同時に自動的に計測が停止します。
 2. 点滅している記号は、コンピュータが信号を受信していることを表しています。

自動パワー・オン/自動パワー・オフ (図.5)

このワイヤレスコンピューターは、自転車の使用開始と同時に、データを自動的に記録します。省電力システムが内蔵されています。

1. 操作モード
 「スリープモード」ではない状態で、コンピューターをブラケットの上に設置します。自転車を数秒間使用すると、コンピューターが自動的に SPD、ODO、DST、MAX、T.RT、およびAVG データを記録し始めます。
 2. スリープモード (「SLEEP」の文字が画面に表示されます)
 コンピューターが「スリープモード」の場合、ボタンを押すと、操作モードに戻ります。
 2.1 コンピューターがブラケット上に設置されている場合、自転車が 48 時間使用されないと「スリープモード」に入ります。
 2.2 コンピューターがブラケット上に設置されていない場合、ボタンを押さないと、15 分後に「スリープモード」に入ります。

リセット操作 (図.6)

1. [モード]ボタンをLCD桁表示が空白になるまで押し下げてください、次にボタンから指を離してください。コンピューターは、DST、RTM、AVG、MAXを[リセット]します。
 2. CLK、T.RT 及び ODO データはリセットできません。

電界発光 バックライト (図.7)

ELセットボタンを押して電界発光バックライト機能のスイッチを入れる、または切ってください。
 電界発光バックライトのスイッチを入れると、⚡の記号が表示されます。
 [モード]ボタンを押した後、4秒間バックライトが点灯します。

電池の交換 (図.8)

1. 電池切れが近くなると、**Low** という記号が表示されます。
 2. この記号が表示されたら、数日以内に新しい電池に交換してください。
 3. 電池交換時に全てのデータが消去されますが、このサイクリング・コンピューターは電池交換前の ODO 及び T.RT のデータ設定を可能にします。古い電池を取外す前にこれらのデータを記録してください！
 4. 新しい CR2025 電池を入れ替えてメイン・ユニットを初期化してください。

トラブル・シューティング

問題	確認項目	ソリューション
表示されない	1. 電池切れではありませんか？ 2. 電池の取り付けが間違っていますか？	1. 電池を交換してください。 2. 電池の陽極 (+) が電池キャップ側を向くようにしてください。
現在スピードが表示されないまたは、不正確なデータ。	1. メインユニット設定 (MAIN UNIT SETUP) など、設定画面になっていませんか？ 2. センサーとマグネットの位置関係と隙間は正しく設定されていますか？ 3. タイヤ外周長が誤っていませんか？ 4. メインユニットとセンサーの距離が大きすぎませんか？また、センサーは正しい角度に取り付けられていますか？ 5. センサーの電池が消耗していませんか？ 6. 周辺に強い干渉電波発生源がありませんか？	1. 設定手順を参照し、調整を完了してください。 2. 図C-aを参照し、正しい位置と隙間になるように再調整してください。 3. [タイヤ外周長の設定 (Circumference Setting)] を参照し、数値を訂正してください。 4. 図C-bを参照し、メインユニットとセンサー間の距離または角度を調整してください。 5. 新しい電池を交換してください。 6. 干渉電波発生源を取り除いてください。
表示がおかしい		「メイン・ユニットの設定」を参照し、再度初期化してください。
LCDが表示されない	走行していないとき、メイン・ユニットを長時間直射日光にさらしたまま放置していませんか？	正常な状態に戻すには、メイン・ユニットを日陰に置いてください。データへの悪影響はありません。
表示が遅い	気温が0 (32°F) より低くありませんか？	気温が上がれば、通常の状態に戻ります。

無線検知距離: トランスミッターからメイン・ユニットまでの距離は70 cm
 動作外気温: 0°C~50°C (32°F~122°F)
 保管温度: -10°C~60°C (14°F~140°F)
 メイン・ユニット電池バフ: 3ボルト・バッテリー: 1x (CR2025), 1x (CR2032)
 メイン・ユニットの寸法及び重量: 34 x 50 x 11.5 mm / 20g
 * 使用および設計は予告なく変更することがあります。

ご注意

- このサイクリング・コンピューターは雨天でも使用できますが、水中では使用しないでください。
- 直射日光に当たらないときは、メイン・ユニットを直射日光にさらしたまま放置しないでください。
- メイン・ユニットまたは、その付属品を分解しないでください。
- 定期的にセンサーと磁気部の相対的な位置と間隔をチェックしてください。
- ブラケットとメイン・ユニットの底部との接触部は、定期的に清掃してください。
- メイン・ユニットまたはその付属品が汚れた場合の清掃には、シンナー、アルコール、またはベンジンを使用しないでください。
- 走行中は、道路状況に注意してください。

